



降雨やみぞれ、融雪時の水膜による 電波減衰を大幅に低減します。



HIREC®未塗装



HIREC®塗装済



HIREC®未塗装



HIREC®塗装済

これまでの常識を超えた、脅威の撥水性能が さまざまなモノ・場所で活用可能

従来の撥水材料の概念を大きく塗り替えた超撥水材料HIREC®100は、物体と水滴の接触角が150度以上という非常に優れた性能を発揮します。さらに、新機能の防汚効果によって大気汚染等による塗膜劣化を大幅に改善したことで、約3年間※新鮮な表面を保持し続け、撥水性能が維持されます。

POINT**1**

降雨時の水膜発生を防ぎ
電波減衰を低減

降雨時、みぞれ時、そして融雪時に発生する水膜に起因するアンテナやレーダーなどの電波減衰を大幅に低減し、通信品質を安定させることができます。

POINT**2**

雪・氷の定着を低減する
「難着雪性・難着氷性」

積雪や氷の付着を防ぐ他にも、つららの生成を防ぐ効果があり、設備の破損や、落雪・落水による重大な事故を未然に防ぎます。

POINT**3**

防汚効果により
性能を約3年間※維持

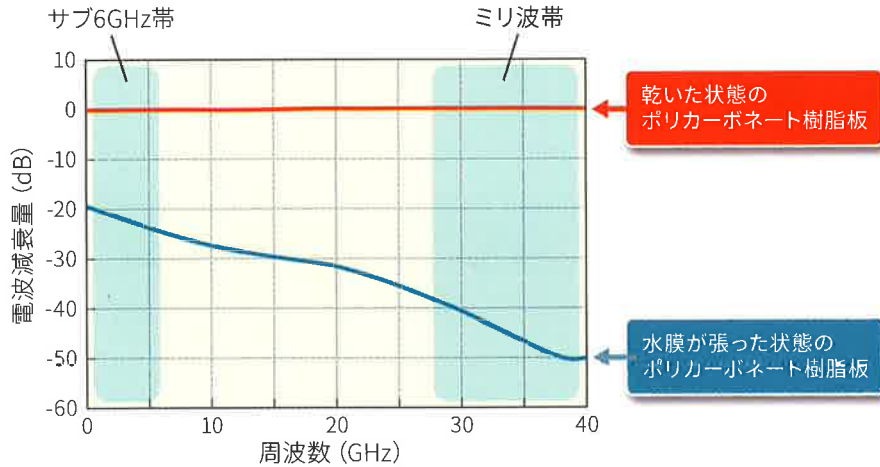
防汚効果により、屋外に設置した際の大気汚染による塗膜の劣化を大幅に改善。約3年間※に渡って塗膜表面は常に新鮮な面を保ちます。

※弊社推奨膜厚（約30μm）での期待期間です。超撥水性の維持期間は、ご利用環境により異なるため、性能を保証するものではありません。



● 水膜で電波減衰が生じやすい5Gの高周波帯でも、HIREC®が電波減衰を最小限に抑制

携帯基地局のアンテナカバー等に広く利用されているポリカーボネート樹脂製の板をサンプルとして使用して、乾いた状態および水膜を張った状態を意図的に再現し、5Gサービスで使われる予定のサブ6GHz帯およびミリ波帯の透過電波減衰量の測定試験を行なったところ、水膜がある状態では電波が著しく減衰しました。(グラフ参照) HIREC®は、すぐれた撥水性能によって水膜が形成され難くなるため、アンテナに塗布後も、このような電波減衰を最小限に抑制することが可能です。



適用事例

● 橋梁への着雪対策

HIREC®100の持つ難着雪性により、落雪を小片化し、通過車両や通行人への影響を低減します。



● 設備の着氷防止

HIREC®の持つ難着氷性により、冷凍室内のファンが霜で凍りつかないように、事前に対策できます。



施工要領

工程	製品名	施工法	施工回数 (回)	塗膜厚さ (μm)	標準使用量 (g/m ²)	塗り重ね時間 (@20°C)
1. 素地調整						
		① 被塗装物の表面に軽くサンドペーパー掛けを行なう。 ② 油脂類や汚れなどの付着物をウェス・シンナー等でよく拭き取り、乾燥させる。				
2. 下塗り	HIREC® 下塗UP-S	刷毛/ローラー /エアスプレーガン	1	30	刷毛/ローラー :170 エアスプレーガン :200	最短24時間 (7日以内を推奨)
3. 上塗り	HIREC® 100	刷毛/ローラー /エアスプレーガン	1	30	刷毛/ローラー :250 エアスプレーガン :300	

お問い合わせ

https://keytech.ntt-at.co.jp/enviro/prd_4001.html



※「HIREC®」は、NTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。※記載された社名、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。※カタログ記載内容 2019年10月現在